

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部令和7年度分を含む」)

静岡県立御殿場南高等学校

静岡県御殿場市新橋1450

電話 (0550) 82-1272

FAX (0550) 84-0264

目 次

□□□□□	事務事業の概要	1
□□□□□	事務執行の根拠法令調	20
□□□□□	学校施設の概要	21
□□□□□	在籍生徒調	23
□□□□□	入学志願者及び入学者数調	24
□□□□□	卒業生の動向調（高等学校用）	25
□□□□□	生徒の状況	26
□□□□□	授業料収納状況調	27
□□□□□	県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	29
□□□□□	預金調	30
□□□□□	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	31
□□□□□	委託料に関する調	33
□□□□□	負担金支出調	35
□□□□□	建築工事調	36
□□□□□	公有財産調	38
□□□□□	借地借家等調	39
□□□□□	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	40
□□□□□	行政財産貸付・使用許可調	41
□□□□□	主要備品調	42
□□□□□	職員調	43
□□□□□	職員調の年齢調	46
□□□□□	健康管理	47

事務事業の概要

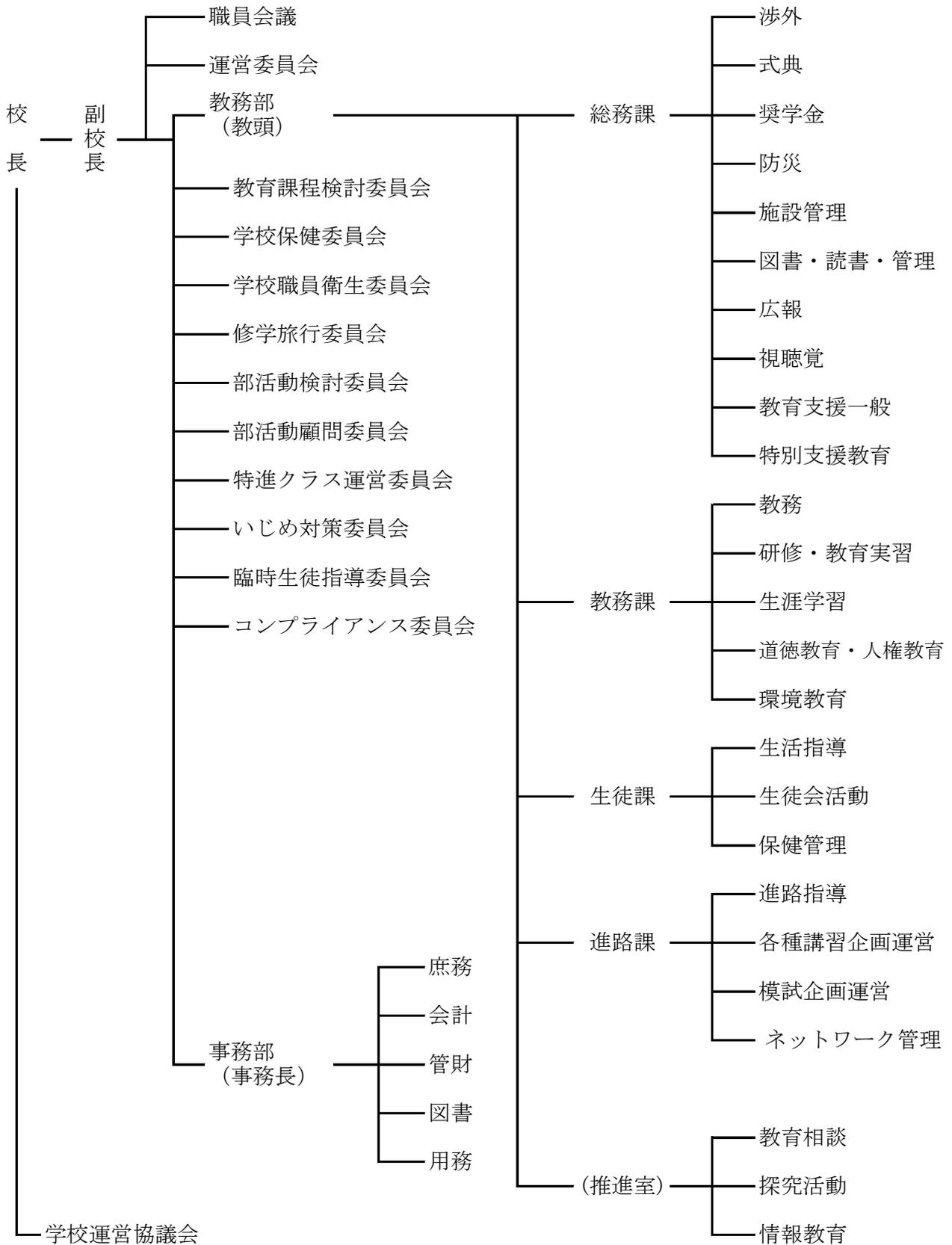
1 概況

(1) 学校の沿革

昭和 37 年 3 月 19 日	静岡県立御殿場南高等学校設立を県議会において議決
昭和 37 年 4 月 1 日	静岡県立御殿場南高等学校設立準備委員発令
昭和 37 年 7 月 26 日	御殿場市新橋 1450 番地において第 1 期工事の起工式举行
昭和 38 年 4 月 1 日	静岡県立御殿場南高等学校開校 入学者募集定員 7 学級 (350 人)
昭和 38 年 4 月 9 日	第 1 回入学式举行
昭和 38 年 4 月 30 日	第 1 期工事 (管理・教室棟) 竣工
昭和 38 年 5 月 17 日	開校式並びに第 1 期工事竣工式举行
昭和 39 年 5 月 16 日	校歌、校旗の制定式举行
昭和 39 年 7 月 4 日	第 2 期工事 (特別教室棟) 竣工
昭和 40 年 9 月 5 日	体育館兼講堂及び格技場竣工
昭和 40 年 10 月 9 日	校舎完成記念式典举行
昭和 41 年 3 月 9 日	第 1 回卒業式举行
昭和 42 年 5 月 17 日	創立 5 周年記念式典举行
昭和 43 年 4 月 1 日	入学者募集定員 7 学級 (336 人)
昭和 44 年 4 月 1 日	入学者募集定員 7 学級 (329 人)
昭和 45 年 4 月 1 日	入学者募集定員 7 学級 (322 人)
昭和 46 年 4 月 1 日	入学者募集定員 7 学級 (315 人)
昭和 46 年 9 月 10 日	第 2 体育館竣工
昭和 47 年 6 月 30 日	創立 10 周年記念式典举行
昭和 47 年 8 月 17 日	プール竣工
昭和 48 年 3 月 30 日	校地拡張
昭和 50 年 3 月 25 日	別館 (図書館・大教室・保健室等) 竣工
昭和 50 年 6 月 28 日	別館落成記念式典举行
昭和 53 年 2 月 23 日	創立 15 周年・生活館落成記念式典举行
昭和 58 年 3 月 31 日	柔剣道場竣工
昭和 58 年 5 月 21 日	創立 20 周年記念式典举行
昭和 62 年 4 月 1 日	入学者募集定員 8 学級 (360 人) となる
昭和 62 年 10 月 23 日	第 1 棟校舎耐震補強工事竣工
昭和 63 年 3 月 3 日	増設教室竣工
平成 4 年 4 月 1 日	入学者募集定員 7 学級 (315 人) となる
平成 4 年 9 月 13 日	創立 30 周年記念式典举行
平成 5 年 3 月 31 日	テニスコート横部屋竣工
平成 5 年 4 月 1 日	入学者募集定員 7 学級 (301 人) となる
平成 6 年 4 月 1 日	入学者募集定員 7 学級 (294 人) となる
平成 6 年 12 月 15 日	特別教室棟改修工事竣工
平成 7 年 4 月 1 日	入学者募集定員 7 学級 (287 人) となる
平成 8 年 3 月 25 日	グラウンド改修工事竣工
平成 8 年 4 月 1 日	入学者募集定員 7 学級 (280 人) となる

平成9年4月 1日	2学期制導入
平成10年3月30日	全天候型テニスコート落成式
平成13年4月 1日	入学者募集定員6学級(240人)となる
平成15年12月19日	第2体育館・プール改修工事竣工
平成18年2月15日	第1体育館耐震補強工事竣工
平成18年4月 1日	入学者募集定員5学級(200人)となる
平成18年6月21日	第2棟校舎耐震補強工事竣工
平成19年4月 1日	入学者募集定員6学級(240人)となる
平成20年4月 1日	入学者募集定員5学級(200人)となる
平成21年2月27日	グラウンド夜間照明設備工事竣工
平成21年4月 1日	3学期制導入
平成22年4月 1日	入学者募集定員6学級(240人)となる
平成23年4月 1日	入学者募集定員5学級(200人)となる
平成24年4月 1日	入学者募集定員6学級(240人)となる
平成24年11月15日	創立50周年記念式典挙行
平成25年3月15日	災害用マンホールトイレ設置工事竣工
平成25年4月 1日	入学者募集定員5学級(200人)となる
令和2年4月 1日	入学者募集定員4学級(160人)となる
令和3年4月 1日	女子制服更新(スラックス導入)
令和4年5月19日	創立60周年記念式典挙行

(2) 組織図



2 スクール・ミッション

北駿の優れた若者を集め育成するという「鍾駿」の建学精神のもと、主体性と言語活動を重視した教科指導、SDGs 探究学習やキャリア面談等で学習及び進路意識の向上を目指すCプロジェクト、協働する姿勢や粘り強さを育む行事や部活動等を通して、「知力」・「精神力」・「体力」・「人間性」を兼ね備えた地域のリーダーとなる人材の育成を目指す。

3 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

【グラデュエーション・ポリシー】（校訓に基づく「育てたい資質・能力」）

「心は広く豊かに」（学びに向かう力・人間性等）

- ・幅広い視野から物事を捉え、自ら課題を発見し、その解決に向け主体的に行動できる。
- ・人権と多様性を尊重し、意見を交わしながら協働して課題解決に向けた努力ができる。
- ・集団の中の一員であることを意識し、周囲への配慮やマナーを伴った行動ができる。

「志は高く大きく」（思考力・判断力・表現力等）

- ・習得した知識や技能を有効活用し、常にレベルアップを目指して修正・改善ができる。
- ・「大学進学後の社会」を意識し、高校時代の学びを活かした進路選択ができる。
- ・学習内容や進路選択等に関して、自分の考えを論理的に他者に伝えることができる。

「日々の努力を惜しまない」（知識・技能・達成感等）

- ・知識・技能等の習得に向けた演習や練習を積み重ね、達成感を得るまで努力できる。
- ・困難に直面しても、様々な側面から状況を分析し、粘り強く解決に向けた取組ができる。

【カリキュラム・ポリシー】

ア 協働性や主体性を育む探究学習

SDGs 探究学習やキャリア面談等から構成されるCプロジェクトを実施し、協働することの大切さを実感するとともに、自己のキャリア意識を深化させる取組を行います。

イ 社会から求められる資質を育む教育課程

「読み取る」・「考える」・「伝える」を念頭にした幅広い教科学習により、対話的で深い学びを実践し、思考力・表現力・コミュニケーション能力等を伸長する教育課程を設定します。

ウ 総合的な人間性を育む学校行事・部活動・ボランティア活動の実施

対面で人と関わる行事・部活動・ボランティア活動等をとおして、地域のリーダーとなる人材に必要な「志」「知力」「精神力」「体力」「人間性」を総合的に育成します。

【アドミッション・ポリシー】

ア SDGs 等の世界的視野に基づき、身近な生活環境の改善に向けて行動を起こせる生徒

イ 将来を見据え、思考することを重んじ、主体的に粘り強く学ぶことのできる生徒

ウ 部活動や生徒会活動及びその他校外で行われる多くの活動に、意欲的に取り組む生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱（イ及びエは6年度変更）

キャリア教育（Cプロジェクト）を通して、学ぶことの意味を意識させると同時に、主体性・課題解決力・コミュニケーション能力等、地域社会の将来を支える人材に求められる力の定着を図る。

ア 学校生活の様々な場面で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力、人間性等」の育成を意識し、全体での目標共有と各自の振り返りを繰り返し行うことで、自己

が向上する喜びを知ると同時に、全体としての目標を達成できるような指導を工夫する。

イ（令和5年度）

教育活動全体を通じて「大学進学後の社会」を意識させ、学習や進路に対する主体的な意欲・意識を向上させる。

（令和6年度）

教育活動全体を通じて「大学進学後の社会」を意識させ、学習や進路に対する主体的な意欲・意識を向上させ、困難なことにも挑戦する姿勢や、折れない力の育成を目指す。

ウ 「読み取る」・「考える」・「伝える」を念頭に、主体性と言語活動を重視した授業づくりと「高校生のための学びの基礎診断」等による定着度の確認・分析を行い、地域の期待に応える進路実績の向上を目指す。また、学習における ICT 機器の効果的な活用を一層推進する。

エ 品格ある自律した生活態度と自制心を育成し、日常生活における挨拶の励行等、社会のマナーとモラルの徹底を図る。また、自他ともに大切にする心身の健康や安全、防災についての意識を高める。

オ SDGs 探究学習や地域における体験活動など多様な学びを通じて、自己の成長とともに地域への貢献を実感できる活動を実施する。

カ 自治体・各種事業所・教育機関等との連携・協働を一層推進させ、他地域にはない魅力を持った取組を、授業・行事・部活動等の様々な場面で工夫する。

キ 業務改善を図り、教職員の意欲と組織力を向上させ、明るく活力ある学校づくりを推進する。

4 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題（重点目標はゴシック体で記載）

【達成状況は学校評価アンケートの集計結果 上段は生徒、下段は保護者 ()は昨年度の割合】

評価	基準	評価	基準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	学校生活の様々な場面で、全体での目標共有と各自の振り返りを繰り返し行うことで、自己が向上する喜びを知ると同時に、全体としての目的を達成できるような指導を工夫する。	・南高に入学して充実した高校生活を送っている。90% ・自ら率先して行事・活動に取り組み、他者と目標を共有し、支援できる。80% ・県・東海・全国大会への出場	90.8(89.3) 88.4(88.9) 77.2(73.9) 82.1(80.9)	A	・部活動でも多くが県大会に出場できた。 ・一日一日の学校生活の積み重ねや、一つ一つの行事に主体的な取り組みをすることができた。概ね充実した学校生活を送っている。 ・学校行事に意欲的に参加し、概ね充実した学校生活を送っている。

イ	<p>教育活動全体を通じて「大学進学後の社会」を意識させ、学習や進路に対する主体的な意欲・意識を向上させ、困難なことにも挑戦する姿勢や、折れない力の育成を目指す。</p>	<p>・将来の進路に基づき、今行うことを考えて、進路に向けて積極的に行動できる。 90% ・自ら課題を設定し、情報を収集・分析しながら、探究する態度が身についている。 90% ・苦手や困難に直面しても、最後まで取り組み続けることができる。 90%</p>	<p>81.8(82.8) 68.0(68.5) 91.5(89.6) 69.0(69.5) 87.6(86.4) 82.4(83.6)</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の文理選択及び2年生の科目選択説明会を例年より前倒して実施し、進路についてより考える機会を設けることができた。 ・生徒がどのようにして進路を決定しているのか、そのプロセスについて保護者の理解が得られていないため、低い数値になっていると思われる。 ・次年度に向けた文理選択と探究活動において地域の産業や行政の実態を調べ、将来の進路を考える機会とした。それを踏まえて東京都立大学を訪問し大学でどのような学びができるのかを調べ、進路意識を高めた。 ・キャリアプラン表明書を作成する過程で、自分の将来について深く考えている。 ・3年生として、学習や進路実現に対する意識が向上し、講習や勉強合宿等に意欲的に参加した。
ウ	<p>「読み取る」・「考える」・「伝える」を念頭に、主体性と言語活動を重視した授業づくりと「高校生のための学びの基礎診断」等による定着度の確認・分析を行い、地域の期待に応える進路実績の向上を目指す。また、学習における ICT 機器の効果的な活用を一層推進する。</p>	<p>・学習の基礎・基本が定着し、基盤となる資質・能力が身についている。 95% ・全国水準を上回る学力を身につける。 ・国公立大学現役合格者数 40 名以上 ・家庭学習時間 1 日平均 2 時間以上 ・教科学習における ICT 機器の効果的活用</p>	<p>92.0(90.2) 77.2(75.1) 80.5(77.8) 81.5(74.7)</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年が新課程へ移行したことで、全ての学年で観点別学習状況の評価をもとにした、授業の評価及び改善へつなげることができた。 ・国公立大学合格者数は順調に伸びているが、学習時間は減少傾向にある。研修などの機会を作り、本腰を入れて改革を行うときが近いと感じられる。 ・新課程に対応した個別最適な学びと協働的な学びを目指し、生徒の学習における ICT

					<p>機器の活用を研修し、各教科で実践した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末を効果的に利用し授業を展開し、週課題、小テストなどを通して学力の定着に努めた。より学力を向上させるために、家庭学習時間の確保が必要である。 ・模試の結果は全国水準とほぼ同程度となっている。1日の平均学習時間が過年度と比較して少ない教科もある。
エ	<p>品格ある自律した生活態度と自制心を育成し、日常生活における挨拶の励行等、社会のマナーとモラルの徹底を図る。また、自他ともに大切にす心身の健康や安全、防災についての意識を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校則やルールを理解し、自分で遵守するだけでなく、他人にも啓発にできる。 90% ・時間的自己管理ができ、けじめある生活を送り、生活リズムができている。 80% ・部活動後の速やかな下校、完全下校時間の厳守 ・スマホ使用時間調査等による自己管理能力の育成 	<p>90.8(89.8) 83.6(84.6) 77.7(76.6) 63.7(62.5)</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒心得を周知し自律した生活を送ることができている。完全下校の厳守はできているものの、スマホの使い方には課題を感じる。 ・初期指導と継続的な指導を学年で連携して取り組むことができた。スマホ利用については更なる啓発を促し、学習時間の確保や自己管理能力を高めることに繋げる必要がある。 ・校則やルールを守りけじめのある学校生活ができている。 ・ルールを守り、けじめと思いやりのある学校生活ができている。
	<p>健康教育、交通安全教育を推進する。防災教育を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康や体力の向上に努め、健やかな心身を意識して自己を管理している。 90% ・生活や交通安全、災害に、配慮して活動できる。 90% 	<p>92.0(90.2) 80.8(80.4) 94.9(94.8) 90.3(89.9)</p>	A	<p>年4回の防災訓練だけでなく、今年は職員対象の研修も行き、防災に対し、学校全体の意識が高まった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車通学者の登下校中の事故が数件あったので、安全意識を高めたい。また、ヘルメット着用の推奨も進めたい。

オ	SDGs 探究学習や地域における体験活動など多様な学びを通じて、自己の成長とともに地域への貢献を実感できる活動を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの意見を述べ、他人の意見と調整し、自分の意見を発展させることができる。 90% ・1部活動1ボランティア（地域交流活動） 	89.0 (89.6) 79.3 (78.1)	A <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間を通して、地域の探究的な学びを推進し、生徒の主体性や協働力を高めることができた。 ・推薦入試の合格率の高さは、Cプロジェクトによるところが大きく、それを支えるものとして探究活動が大きな効果を果たしていると思われる。 ・1部活1ボランティアをほとんどの部活で実施できた。主体性を持って意見の発展ができるようにしたい。 ・探究活動を通して他者と協働した学習活動を発表に繋げるスキルを身に付けることができた。 ・ボランティアや探究学習に積極的に取り組んだ。 ・特別活動や部活動を通し、概ね目標を達成できた。
		<ul style="list-style-type: none"> ・文化・芸術に触れることで、視野を広げ、教養を深める。 85% 	81.8 (81.4) 62.7 (61.7)	B <ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞会ではゴスペル音楽についての教養を深めることができた。 ・芸術鑑賞会やかるた大会を通して教養を深めた。 ・音楽の芸術鑑賞会は好評であった。 ・鍾馭祭文化の部や芸術鑑賞教室などを通し、文化・芸術に親しむことができた。
カ	自治体・各種事業所・教育機関等との連携・協働を一層推進させ、他地域にはない魅力を持った取組を、授業・行事・部活動等の様々な場面で工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、地域との繋がりを理解し、他者と連携して社会に尽くしていこうとする。 85% 	84.8 (82.8) 70.5 (71.0)	B <ul style="list-style-type: none"> ・PTAの事業や組織を見直しコンパクトな運営になったが、特に問題もなく、総会や奉仕作業等の出席率も前年を上回ることができた。また、行政や地域自治体と防災について協議することができた。 ・探究活動を通じて、地域企

					業の方々と継続的に関わり、地域の課題を知り、解決策を考えることができた。 ・探究学習の活動中心に、様々な機関と連携していた。 ・3年生になり探究としての取り組みは少なかったが、行事等は概ね良好であった。 ・市議会議員交流を実施した。ホームページを新しくし、学校の情報をより分かりやすく発信できるようにした。静岡大学に2年生が、都立大学に1年生が、大学訪問を行った。
キ	環境整備や業務改善を図りながら、生徒の公共心や教職員の意欲・組織力を向上させ、明るく活力ある学校づくりを推進する。	・公共物や施設、環境に気を配り、清掃・整理など積極的に環境を整える。 95% ・定期点検月1回、随時点検	93.1(93.4) 80.3(78.1)	B	・清掃や用具の管理など計画的に実施することができた。 ・廊下、階段等は水拭きによる清掃を日常的に行い、校内の環境美化に努めた。施設設備の破損等で工事が必要な箇所については、予算要求を行い、施設設備の改善に努めた。
		・補習、部活動における外部人材による支援を広げる。 ・分掌・学年部の業務ファイルの作成を進め、引継を円滑化		B	・「補習等のための指導員派遣事業」を活用し、面談指導等を行った。部活動において8名（運動部5名、文化部3名）の方に外部指導員として、指導に当たっていただいた。

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標（生徒の割合）	担当部署
ア	学校生活の様々な場面で、全体での目標共有と各自の振り返りを繰り返し行うことで、自己が向上する喜びを知ると同時に、全体とし	・授業、部活動、生徒会活動など、高校生活の中で達成感を味わい、「主体的」に活動する場面を設定する。 ・学校生活の様々な場面で、集団としての目標を設定し、目	・南高に入学して充実した高校生活を送っている。 90% ・自ら率先して行事・活動に取り組み、他者と目標を共有し、支援できる。 80% ・県・東海・全国大会への出場	全体

	ての目的を達成できるような指導を工夫する。	標達成に取り組む姿勢を育む。 ・学習や活動の成果を、より積極的に進路指導で活用する。		
イ	教育活動全体を通じて「大学進学後の社会」を意識させ、学習や進路に対する主体的な意欲・意識を向上させ、困難なことにも挑戦する姿勢や、折れない力の育成を目指す。	・SDGs 探究学習の一層の内容充実、実施体制整備を図る。 ・テーマ探究学習、キャリアプラン表明書の指導を通じて、学びの先にある社会に役立とうとする「こころざし」の向上を目指すとともに、その達成のため主体的に学習する姿勢を養う。 ・海外交流や資格、探究サークル等、進路実現のために「主体的」に活動できる場を創出し、踏み出す力を支援する。	・将来の進路に基づき、今行うことを考えて、進路に向けて積極的に行動できる。 90% ・自ら課題を設定し、情報を収集・分析しながら、探究する態度が身につけている。 90% ・苦手や困難に直面しても、最後まで取り組み続けることができる。 90%	進路 教務 学年
ウ	「読み取る」・「考える」・「伝える」を念頭に、主体性と言語活動を重視した授業づくりと「高校生のための学びの基礎診断」等による定着度の確認・分析を行い、地域の期待に応える進路実績の向上を目指す。また、学習における ICT 機器の効果的な活用を一層推進する。	・「思考力・判断力・表現力」養成を重視する授業改善と学習評価を実践し、定着を図る。 ・AL 型授業または ICT 活用授業を各単元に 1 回以上実施する。 ・「高校生のための学びの基礎診断」等を活用し、教科毎のヒアリングを年 2 回実施 ・新学習指導要領に対応した評価の実践・検証を行う。 ・授業参観を年 3 回以上実施する。 ・自学自習力を向上し、家庭学習時間を確保する。 ・特進クラス魅力化の検討を行う。	・学習の基礎・基本が定着し、基盤となる資質・能力が身につけている。 95% ・全国水準を上回る学力を身につける。 ・国公立大学現役合格者数 40 名以上 ・家庭学習時間 1 日平均 2 時間以上 ・教科学習における ICT 機器の効果的活用	研修 教務 進路 学年
エ	品格ある自律した生活態度と自制心を育成し、日常生活における挨拶の励行等、社会のマナーとモラルの徹底を図る。また、自他ともに大切にすることを心身の健康や安全、防災についての意識を高める。	・初期指導や生徒会活動等の機会を活かし、容儀の端正化、マナーの徹底を図り、挨拶の励行等に取り組む。 ・ルール理由と違反の周囲への影響を理解させ、他者への思いやりと人権を意識する。 ・いじめ防止の組織的な対応を行う。 ・スマホの使用（SNS、ゲーム、動画視聴等）に対する自制心を育成する。	・校則やルールを理解し、自分で遵守するだけでなく、他人にも啓発にできる。 90% ・時間的自己管理ができ、けじめある生活を送り、生活リズムができています。 80% ・部活動後の速やかな下校、完全下校時間の厳守 ・スマホ使用時間調査等による自己管理能力の育成	生徒 学年 全体
	健康教育、交通安全教育を推進する。 防災教育を実施する。	・健康、安全啓発とともに、災害を想定し、非常時に対応できる体制づくりをする。 ・重大な交通事故ゼロを目指す。	・健康や体力の向上に努め、健やかな心身を意識して自己を管理している。 90% ・生活や交通安全、災害に、配慮して活動できる。 90%	生徒 総務 教頭

		・生徒が相談しやすい体制づくりを推進する。		
オ	SDGs 探究学習や地域における体験活動など多様な学びを通じて、自己の成長とともに地域への貢献を実感できる活動を実施する。	・自治体や事業所、大学等と連携し、SDGs フィールドワーク、ボランティア活動、学習発表会等をさらに充実させる。 ・授業、鍾駿ゼミ、修学旅行等、で主体性、協働性を育む。	・自らの意見を述べ、他人の意見と調整し、自分の意見を発展させることができる。 90% ・1部活動1ボランティア(地域交流活動)	進路 学年 教務
		・図書館広報を充実し、読書を推進する。年間利用者延べ2000人、貸出数1200冊を目指す。 ・1・2年で読書関連活動を実施する。	・文化・芸術に触れることで、視野を広げ、教養を深める。 85%	図書 学年
カ	自治体・各種事業所・教育機関等との連携・協働を一層推進させ、他地域にはない魅力を持った取組を、授業・行事・部活動等の様々な場面で工夫する。	・「話し方ワークショップ」や同窓会との協働企画等、特色づくりに向けた取組を継続する。 ・鍾駿会等の外郭団体や新聞社等と連携し、より積極的な発信・広報を行う。	・家庭、地域との繋がりを理解し、他者と連携して社会に尽くしていこうとする。 85%	副校長 総務 学年
キ	環境整備や業務改善を図りながら、生徒の公共心や教職員の意欲・組織力を向上させ、明るく活力ある学校づくりを推進する。	・公共心を涵養する。 ・施設、設備の状況を定期的に点検し、予算を有効に執行する。	・公共物や施設、環境に気を配り、清掃・整理など積極的に環境を整える。 95% ・定期点検月1回、 随時点検	総務 事務
		・外部人材による支援を拡充する。 ・業務ファイルの整備を進める。 ・事務集約化を見据えて、会議・分掌業務の見直しを行う。 ・不祥事根絶研修を実施する。	・補習、部活動における外部人材による支援を広げる。 ・分掌・学年部の業務ファイルの作成を進め、引継を円滑化	管理 職 運営 委員

5 監査対象期間における特色ある取組…Cプロジェクト

Cプロジェクトとは『常に目標を持って何事にもチャレンジ(Challenge)する』、『壁や困難にぶつかった時に創造力(Creativity)を持って、既存の発想にとらわれず課題に対する解決法を考え乗り越える』、『自分のキャリア(Career)を切り拓いていく』、『自他の個性や役割を理解し、豊かな人間関係を築く協働性(Cooperation)』、『広く地域社会や国際社会に貢献する自負心(Confidence)』などを育成することを目標とし、それぞれの単語の頭文字『C』より名づけたものであり、本校ではキャリア教育を中心に据えた学年づくりを行い、総合的な探究(学習)の時間をはじめ、学校教育活動全体で1年生は『社会を知る』、2年生は『他者を知る』、3年生は『自己を深める』ことを目標に取り組んでいる。また、授業とは切り離し、進路希望別に「教員探究サークル Tagg」「医療系探究サークル MAP」を令和6年度から始動し、小中学校や医療現場への体験訪問等を行い、進路意識の向上や専門的な見識の深化を図るとともに、地元地域との連携を深め、将来は地元地域に貢献する人材の育成を目指し、取り組んでいる。

令和6年度は、静岡大学教育学部崎美保准教授とゼミ生に協力いただき、探究方法の在り方や発表方法、評価について協働開発した。

令和6年度Cプロジェクトについて

活動視点

- ・『自ら探る、調べる、考える力』を身につけるために、1年生においてSDGs 17の課題探究活動を取り入れ、主体的に課題解決に取り組ませる姿勢を育てていく。
- ・キャリア教育は特別な行事に限らず、日常の学校生活にいかに取り入れ、充実していくかが重要である。授業や部活動などを中心に学校教育活動全体を通して推進できるよう取り組んでいく。
- ・1年生は『社会を知る』（SDGs活動）、2年生は『他者を知る』（学部・学科研究）、3年生は『自己を深める』（キャリアプラン表明書作成）に取り組んでいく。

取 組 概 要	成果及び課題
<p>○スクールマナー研修（1年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生活の基本的なルールを確認するとともに、集団活動を通して新入生同士の親睦を深めた。 <p>○SDGs基礎講座（1年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立中央青少年交流の家において、SDGsオリエンテーリングを実施した。生徒は施設内をまわり、SDGsの基礎を学んだ。 <p>○キャリアツアー（2年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡大学(静岡キャンパス)を訪問し、施設見学やワークショップを実施した。 <p>○地域探究フィールドワーク（1年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中に御殿場の企業・団体が構成される御殿場SDGsクラブやと連携して、市内11か所でフィールドワークを実施した。 <p>○高大連携ゼミ（1年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡大学の学生が来校し、探究学習をサポートした。 <p>○プレゼン向上ワークショップ（1年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション力の向上を目的に、吉本興業の芸人を講師として招き、ワークショップを実施した。 <p>○探究アクションプラン発表会（1年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークの学びから考察した課題について、解決への仮説と実践計画を踏まえたアクションプランを発表した。発表は順位をつけ、34のグループが予選、決勝は5グループで行わ 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学後の新しい集団（学年・クラス）における親睦や人間関係の構築、高校生活での基本的な行動について理解できた。 ・外部の施設における活動や、外部講師を招聘し講義を受けることで、SDGsや探究活動への理解が深まった。 ・生徒は、キャリアツアーを通じて、社会の課題を広く捉え、自分自身の将来と結びつけることができた。 ・フィールドワークは生徒が主体的に関心のある分野の企業・団体を選択希望し、行き先を決定した。フィールドワーク後には行き先のグループごとに報告会を実施し、地域の一員として、地域が抱える課題に対して認識を高め合った。 ・高大連携ゼミで来校した大学生の助言によって、地域的・社会的な課題の整理・分析を行い、新たな視点を獲得できた。 ・プレゼン向上ワークショップでは、漫才をつくり人前で発表することで、コミュニケーションの楽しさや重要性などを学んだ。 ・地域探究活動を積極的に行うことで、地域

れた。審査員は企業・団体の担当者、学校運営協議会委員が務めた。

○静岡大学訪問（1年）

- ・アクションプラン発表会において、優秀な成果を収めたグループが、静岡大学を訪問した。

○教育探究サークル Tagg（1・2・3年）

- ・第1回：御殿場市立南小学校にて、担任教諭の指導の下、児童への学習支援一日体験を行った。
- ・第2回：県内の教員志望の大学生と交流会を実施し、大学生活や進路について学んだ。
- ・第3回：御殿場市主催の「ごてんばの日」に、大学生と協働して展示ブースを出展した。
- ・第4回：御殿場市立南小学校と裾野市立東中学校で、児童生徒への学習支援一日体験を行った。
- ・第5回：裾野市立西中学校にて、社会科の授業で金融リテラシーについて学習支援を行った。

○医療系探究サークル MAP（1・2・3年）

- ・医療系の職業を志望する生徒を対象に、フジ虎ノ門整形外科病院から講師を招聘し、健康とスポーツをテーマに医療セミナーを行った。

○学問研究（事前事後を含む）（1・2・3年）

- ・文理選択のため学問研究を行った。学問と社会、職業の結びつきについて研究を行った。

○大学研究、学部学科研究（事前事後を含む）（1・2・3年）

- ・夢ナビライブや動画により、大学学部学科研究を行った。スタディサプリや進学辞典で進路適性検査や大学学部学科研究を行った。

○キャリアプラン表明書（事前事後を含む）

- ・2年～3年1学期、生徒が自らの価値観及び問題意識を整理し、学びたいことや志など、あらためて進路について考える「キャリアプラン表明書」を作成し、作成した表明書をもとに担任、学年部、管理職と段階を踏みながら面談を実施した。

○修学旅行（2年）

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、海外の計

の課題や問題点を理解し、高校生として今何ができるかを考え、課題解決策を考案したグループが多く見られた。

- ・アクションプラン発表会後の課題解決策の再検討を経て、グループごとに課題解決の実践に向けた計画書を作成した。静岡大学訪問では、大学の講義を参観し、計画書の発表を行った。大学生との交流を通して、探究に関する知見を広げることができた。
- ・将来、教員を目指す生徒が、地域の小中学校での学習支援体験や教員との交流を通して、教職への志や意欲を高めるとともに、ソーシャルスキル等の対人関係形成能力を向上させた。

- ・生徒は、医療の仕事への関心を高め、医療の役割や地域との関わりについて、理解を深めた。

- ・自らの進路についてより具体的に考え、受験科目調べを行い、大学と高校の違いや、現在学習していることが大学で学ぶことの基礎になっていることなどに気付いた生徒が見られた。適性検査では各自の強みや可能性、適性を活かせる職業分野が何であるのかを確認することができた。大学で何を勉強していくのかを考えるきっかけになった。
- ・キャリアプラン表明書を書くことで、自分自身の在り方、生き方について主体的に考えるようになった。また、各段階の面談が進むにつれ、進路実現への意識や意欲の向上が図られた。

<p>画を国内（沖縄）に変更して実施した。</p> <p>○進路研究（3年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の特性を最大限に活かすことができるのか、そして社会に貢献できるのかを考えながら「進路研究」を行った。 <p>○面接、講習等の受験指導（3年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受験もキャリア教育の一環として生徒、職員共に意識して取り組んだ。 <p>○卒業生講話（1・2年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業する先輩による自らの大学受験についての体験に基づく講話を行った。 <p>○キャリア講演会（1・2年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年ごと、進路実現に向けた講演会を行った。 <p>○人間関係づくりプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生集団研修において行った。 <p>○教育実習生の講話</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄では、文化・歴史・平和・風土等、普段の生活環境と異なる多くの体験ができ、感動を得ることができた。 ・進路について考え、調べ、決断し、社会貢献を意識した進路実現に取り組む意識づけができた。 ・他学年教員とも面接練習を行い、志望理由書作成や小論文指導等により志望動機をより明確にすることができた。 ・卒業生の講話を通して、どのように進学先を決め、受験に臨んだかを聞き、進路選択の参考にした。 ・ベネッセ、河合塾の講師の話を読み、どのように受験に臨むかを学んだ。 ・新しい集団（学年・クラス）における人間関係の構築や親睦を深めることができた。
--	--

令和7年度Cプロジェクトについて	
<p>活動視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『自ら探る、調べる、考える力』を身につけるために、1年生においてSDGs課題探究活動を推進し、主体的に課題解決に取り組ませる姿勢を育てていく。 ・キャリア教育は、特別な行事のみならず日常の学校生活において、如何に取り入れ充実させていくかが重要である。授業や特別活動・部活動など、学校教育活動全体を通して推進できるよう取り組んでいく。 ・1年生は『社会を知る』（SDGs活動）、2年生は『他者を知る』（学部・学科研究、テーマ別探究講座）、3年生は『自己を深める』（キャリアプラン表明）を主軸に取り組んでいく。 	
取組概要	成果及び課題
<ul style="list-style-type: none"> ○スクールマナー研修 ○課題探究活動（事前事後を含む） ○学問研究（事前事後を含む） ○大学研究（事前事後を含む） ○学部学科研究（事前事後を含む） ○論文研究 ○キャリアプラン表明書（事前事後を含む） ○修学旅行（事前事後を含む） ○進路研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題探究活動は、SDGs 17の目標から1つのテーマを選び、グループで探究活動を行い、クラス発表・学年発表につなげていく。 ・地域貢献活動を積極的に実施することで地域の課題点・問題点を理解させ、今何をしなければならないかを考える機会を持てるようにしていく。 ・静岡大学との連携及び地域との結びつきを

○面接、講習等の受験指導 ○卒業生講話 ○キャリア講演会 ○地域貢献活動	深め、地域課題の解消や地域の活性化につなげていく。
---	---------------------------

6 教職員について

(1) 異動状況

区分	本 務 職 員											小計	会 計 年 度 任 用 職 員 等					小計	合計
	校長	副校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	主任実習助手	主任査	主任任	主任事	技能長		教諭(臨時)	非常勤講師	部活動指導員	非常勤嘱託員	スクールカウンセラー		
転出者	1				2			1				4	1					1	5
退職者				1	3							4		1	1	1		3	7
役職定年			1									1						0	1
転入者					4				1			5	1					1	6
新任者	1		1	1								3		1	1	1	2	5	8
差引増減	0	0	0	0	△1	0	0	△1	1	0	0	△1	0	0	0	0	2	2	1

(2) 現員数

(令和7年6月30日現在)

区分	本 務 職 員										小計	会 計 年 度 任 用 職 員 等						小計	合計
	校長	副校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	主任実習助手	主任任	技能長	教諭(臨時)		非常勤講師	ALT	部活動指導員	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	スクールカウンセラー		
計	1	1	1	1	25	1	1	2	1	34	1	9	1	1	1	1	2	16	50

(3) 健康管理について

職員健康保持促進及び職場の環境整備への取組み

- ・健康診断結果を重視し、再検査該当者に対しては早期再受診を促し、疾病の早期発見と治療に配慮している。フィジカルヘルスやメンタルヘルスの両面においても、年次有給休暇取得が、本人の希望に沿うようにし、心身の休養を取りやすくするように配慮している。
- ・勤務時間管理に務め、ワークライフバランス実現に取り組んだ。長期休業前の職員会議では、夏季休暇や家族休暇の積極的取得を呼びかけ、職員のワークライフバランスの確保に努めた。
- ・事務室では予算の計画的執行とだき合わせて、物品請求においても、計画的に執行するよう、職員に呼びかけた。
- ・ストレスチェック検査の参加をはじめ、しずおか型教職員サポート事業等カウンセリング事業の積極的紹介・受けやすい環境整備に努めた。
- ・職員が定時退庁しやすい曜日を本人が選択する形で定時退庁日を設定している。職員室に名簿を貼って意識づけをしている。また朝の打ち合わせや職員会議で呼びかけ、時間外勤務削減に努

め、仕事とプライベートの切り替えができるよう促している。

・1ヶ月当たりの勤務時間外勤務が80時間を超過した職員には『長時間勤務者疲労蓄積度自己診断チェックリスト』を実施し、その結果を学校管理医に毎月報告し、学校管理医に点検をしていただいている。また、管理職面接を大切にし、日頃より管理職から職員への声かけを実践し、職員の心身の健康状態を把握すべく努めている。

・職員数減に伴い、個々の職員の多忙化が増進しており、令和6年度末には教員の負担軽減に向けて、部活動の見直しを行った。

(4) 教職員の研修について

令和6年度校内研修（キャリア教育・授業改善、コンプライアンス研修）、校外研修について	
取組概要	成果及び課題
<p>○キャリア教育、授業改善研修</p> <p>4月：Chromebook の利用について、情報委員会が効果的な活用への支援を行った。</p> <p>5月：第1回校内研修 「合理的配慮の必要性 ―組織として支援体制を築く―」 講師 学校支援心理アドバイザー 大河 由美子 氏</p> <p>・特別支援や合理的な配慮の概要および高等学校における事例と課題について講話を聞き、組織的な支援体制の必要性や具体的な方法について研修した。</p> <p>6月：公開授業週間</p> <p>・工夫のある授業を公開し、相互に授業を参観した。</p> <p>10月：第2回校内研修 「主体的・対話的で深い学びを支える授業研究」</p> <p>・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と学習評価の充実のため、総合教育センターの研修を受講した職員が伝達講習を行った。学習過程可視化法を活用した授業研究および分析の手法について研修した。</p> <p>2月：授業アンケートを教員ごとに行い、授業の成果と課題を得た。</p>	<p>・令和5年度からのBYOD導入への対応として、タブレットやChromebook への利用について理解を深めることができた。</p> <p>・研修を通して特別支援や合理的配慮について、8割以上の職員が理解が深まったと感じている一方で、組織的な支援体制と各種専門機関との連携については、継続した議論と体制づくりの必要性を感じた。</p> <p>・各教員が新学習指導要領の新たな評価方法を意識した特徴や工夫のある授業を公開し、大学入学共通テストに対応できる力の育成を目指した授業を互いに検討した。</p> <p>・研修を通して「主体性・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりへの理解や、教科科目の授業研究へ活用する意欲を示した職員が多く見られた。また授業実践における工夫や、教材研究の視点などを職員同士で共有したり、情報交換をしたりする機会となった。</p> <p>・教科別・学年別・全体の集計を行い、授業改善に活かした。今年度の取組に関する整理と次年度に向けた目標や課題を明確にした。</p>
<p>○コンプライアンス研修</p> <p>・職員会議で県内教職員の不祥事事例を紹介し、注意喚起を行うとともに、不祥事根絶に</p>	<p>・報告された不祥事事例を、他人事ではなく自分事として受け止め、日常生活において、コンプライアンスを意識した発言や行動が見られる</p>

わたるテーマを設定した研修を実施した。 「学校生活に関するアンケート（いじめの調査含む）」の実施と結果を踏まえ、指導の見直しを行った。不祥事に関する通知が届くたびに、職員会議にてコンプライアンスに関する時間を設け、注意喚起を行った。	ようになった。 ・生徒・保護者それぞれの本校学校生活における評価の把握と「いじめ調査」結果からは、校内における「いじめ」は散見されなかった。
○初任者研修 河畑、細田	・該当職員1名が参加、自ら課題を設定し、積極的に研修に取り組んだ。
○3年次研修 菅原	・該当職員1名が参加、自ら課題を設定し、積極的に研修に取り組んだ。
○7年次研修 諏訪部	・該当職員1名が参加、自ら課題を設定し、積極的に研修に取り組んだ。
○8年次研修 山梨	・該当職員1名が参加、自ら課題を設定し、積極的に研修に取り組んだ。
○中堅教諭等資質向上研修 I：稲・茅野、II：西家	・該当職員2名（I期2名、II期1名）が参加、自ら課題を設定し、積極的に研修に取り組んだ。

令和7年度校内研修（キャリア教育・授業改善、コンプライアンス研修）、校外研修について	
取 組 概 要	成果及び課題
○キャリア教育、授業改善研修 5月：校内研修 6月：授業公開週間 10月：授業改善研修（定期訪問と同日開催） 2月：授業アンケート	・授業公開週間では、各教員が特徴や工夫された授業を参観し合い、授業改善や生徒理解を深めた。
○コンプライアンス研修 ・職員会議にて、不祥事に関する通知を配付し、注意喚起を行っていく。 ・人権意識高揚及び性暴力等の防止に関する研修を実施（7月）。 ・教職員対象防災安全研修「教職員防災講座」を実施（8月）。 ・「学校生活に関するアンケート（いじめの調査含む）」を実施し、その結果を踏まえた指導の見直しを行う。	・職員会議ごとに、注意喚起を行っている。 ・生徒の呼び方や声掛けの仕方などについて、グループワークを行い、生徒に対する人権意識の高揚を図る。
○2年次研修 河畑、細田	・該当職員2名が参加、自ら課題を設定し研修を計画・実施中。
○6年次研修 中村	・該当職員1名が参加、自ら課題を設定し研修を計画・実施中。

○8年次研修 諏訪部	・該当職員1名が参加、自ら課題を設定し研修を計画・実施中。
○中堅教諭等資質向上研修 Ⅱ：稲・茅野	・該当職員2名（Ⅱ期2名）が参加、自ら課題を設定し研修を計画・実施中。

7 防災対策について

令和6年度校内避難訓練・研修・整備、地域避難訓練・地域防災について	
取組概要	成果及び課題
4月11日：大規模地震が発生した場合を想定した避難訓練を実施し、地区会を組織し人員数を確認後、地区会リーダーを選出した。	避難経路や誘導の確認や避難集合場所、集合隊形を確認した。地区別の組織をつくり確認できた。
8月29日：全職員で東部地域局の出前講座（IDFA）を実施した。	災害時の優先行動と必要な準備について、グループワークを中心に研修を行った。
9月5日：2・3年生に東部地域局による「ふじのくにジュニア防災士養成講座」を実施した。	2年生は意識啓発コース（講話とレポート作成）、3年生は知識行動コース（講話と演習）を実施し参加者全員が認定を受けた。
9月12日：1年生に東部地域局による防災講座を実施した。	「災害時判断ゲーム」を行い、災害時の適切な行動についてグループワークで理解を深めた。
11月20日：抜き打ちの避難訓練を火災を想定して実施した。	抜き打ちであり、避難経路も通行できない所を設定して、生徒の自主的な避難行動を訓練することができた。
11月27日：地域防災連絡協議会を開催した。御殿場市役所危機管理課と地域振興センター、新橋区と二の岡区の防災担当者が参加した。	各地区の防災訓練や防災対策の報告、御殿場市役所危機管理課より、地域防災訓練や富士山噴火に対する対策について協議した。
12月1日：実施日1か月前より地域防災への参加をよびかけ、実施後にその内容を報告させた。	地域防災実施日に修学旅行と期末テストが重なり、参加が生徒90名、教員4名であった。AEDの使い方講習や消火訓練、炊き出しの実演や防災倉庫の確認等を行うことができた。

令和7年度校内避難訓練・研修・整備、地域避難訓練・地域防災について	
取組概要	成果及び課題
4月17日：大規模地震避難訓練を実施。地区会を組織し、人員数を確認後、地区会リーダーを選出した。	避難経路や誘導の確認や避難集合場所、集合隊形を確認した。地区別の組織をつくり確認できた。
8月29日：東部地域局の出前講座を、全職員で受講する予定。	災害時の優先行動と必要な準備について、グループワークを中心に実施する予定。
9月11日：1年生に東部地域局による防災講座を実施する予定。	防災判断ゲームをオンラインで実施する予定。
10月2日：2・3年生に東部地域局による「ふ	2年生は意識啓発コース（50分）を、3年生は

じのくにジュニア防災士養成講座」を実施予定。	知識行動コース（100分）を実施予定。
11月中旬：火災を想定した抜き打ちの避難訓練を実施予定。	避難経路に通行できない箇所を設定して実施する予定。
11月下旬：地域防災連絡協議会を実施予定。	御殿場市役所危機管理課、御殿場市振興センター、新橋区と二の岡区の自主防砂組織の方々が参加する予定。
12月上旬：地域防災訓練の実施予定。	1か月ほど前より参加を呼びかける予定。

8 学校開放について

地域に開かれた学校をめざして地域住民の社会教育活動、スポーツ生涯学習活動振興等のため、学校諸活動に支障のない範囲で積極的に学校施設を開放している。

令和6年度

区 分	日 数	延利用者数	利用者負担金 (電気使用料)
体育館	79日	1,042人	雑収額合計 87,678円
武道場	36日	376人	
運動場	45日	1,004人	
計	160日	2,422人	

令和7年度

(令和7年6月30日現在)

区 分	日 数	延利用者数	利用者負担金 (電気使用料)
体育館	14日	173人	雑収額合計 19,700円
武道場	7日	64人	
運動場	13日	247人	
計	34日	484人	

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関すること	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令
2 学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条、第47条の5） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） いじめ防止対策推進法（第8条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 社会教育法（第43条、第45条、第47条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県情報公開条例施行規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校遠距離通学補助金交付要綱 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則 静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する要綱

□□□□□

学校施設の概要

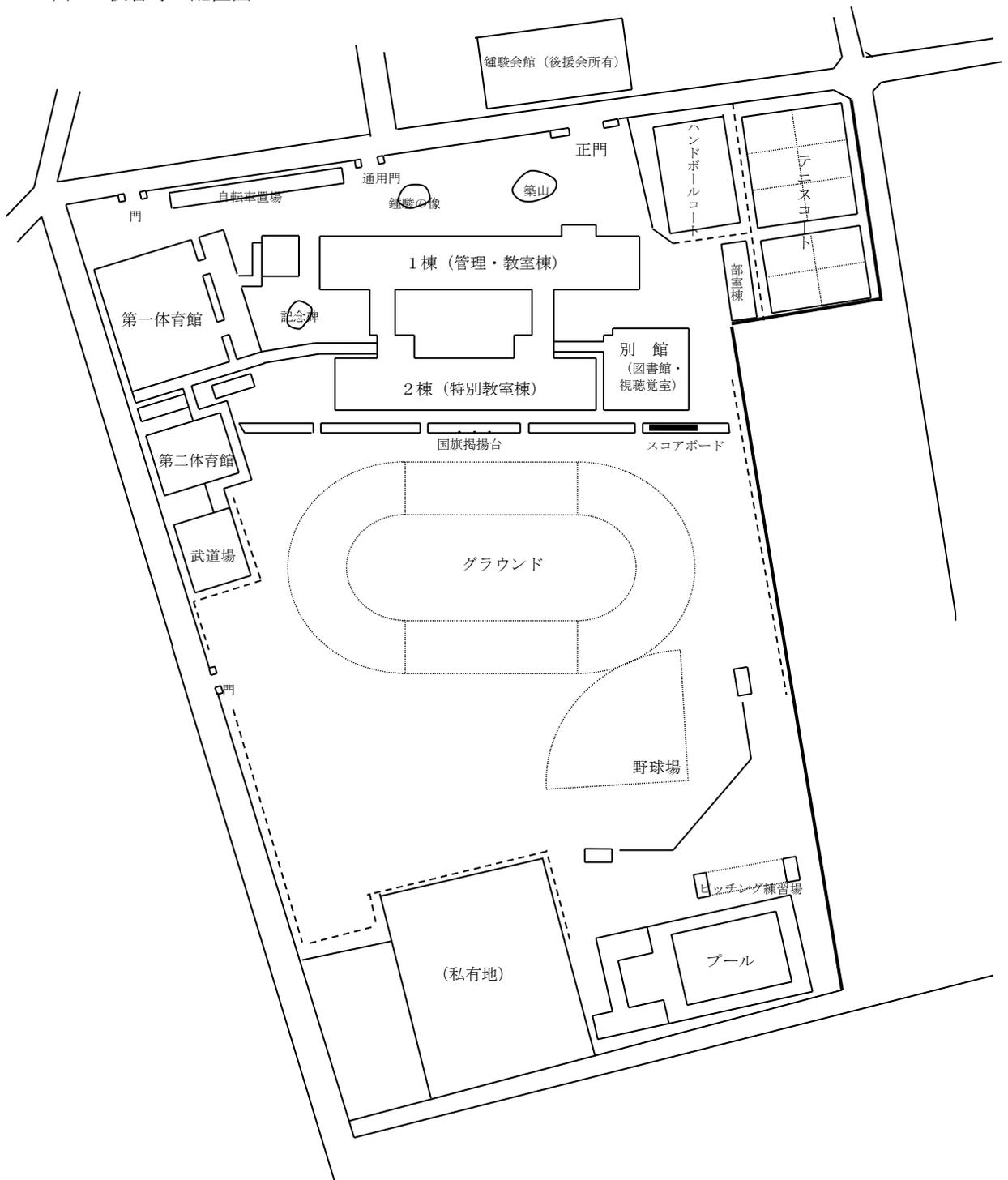
1 面積及び所有区分

(令和7年6月30日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	40,058.73	40,058.73					
内 訳	校 舎 敷 地	17,578.00	17,578.00				
	運 動 場 敷 地	22,480.73	22,480.73				
	そ の 他 の 敷 地						
校 舎	<u>建</u> 2,525.63 <u>延</u> 7,155.57	<u>2,525.63</u> <u>7,155.57</u>					
体 育 館	<u>建</u> 1,789.03 <u>延</u> 1,985.41	<u>1,789.03</u> <u>1,985.41</u>					
武 道 場	<u>建</u> 644.95 <u>延</u> 644.95	<u>644.95</u> <u>644.95</u>					
その他の建物	<u>建</u> 1,724.15 <u>延</u> 2,089.52	<u>1,526.34</u> <u>1,891.71</u>			<u>建</u> 197.81 <u>延</u> 197.81		
生 活 館	<u>建</u> 386.80 <u>延</u> 721.10				<u>建</u> 386.80 <u>延</u> 721.10		
プ ー ル	1	1					25m×7コース

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等 (法面・演習林等を除く)

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	40,058.73 m ²	7,155.57 m ²	22,480.73 m ²
県平均	45,574.48 m ²	9,782.41 m ²	22,506.84 m ²

在 籍 生 徒 調

(令和7年6月30日現在)

学年	学科別		普 通 科										
	区分		定員	男子	女子	計							
1年	入学者		160	91	71	162							
		増加											
		減少											
	現在						91	71	162				
2年	入学者						160	89	71	160			
		増加											
		減少					1	1					
	2年時当初						89	70	159				
		増加											
		減少											
現在		89									70	159	
3年	入学者		160	96	59	155							
		増加											
		減少									2	2	4
	2年時当初						94	57	151				
		増加											
		減少									3	3	
	3年時当初										91	58	149
		増加											
減少		1											
現在		91	57	148									

入学志願者及び入学者数調

区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
学 科 別		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員 (A)		160	160	160	160	160
募集者数 (B)		160	160	160	160	160
志願者数	男	107	77	99	90 (1)	91
	女	73	67	61	72	72
	計 (C)	180	144	160	162 (1)	163
受検者数	男	106	77	97	89 (1)	91
	女	71	67	59	71	72
	計 (D)	177	144	156	160 (1)	163
合格者数	男	94	77	96	88 (1)	91
	女	70	67	59	71	72
	計 (E)	164	144	155	159 (1)	163
志願倍率 (C)/(B)		1.13	0.90	1.00	1.01	1.02
受検倍率 (D)/(B)		1.11	0.90	0.98	1.00	1.02
入学者数	男	94	77	96	89	91
	女	70	67	59	71	71
	計 (F)	164	144	155	160	162
充足率 (F)/(A)		1.03	0.90	0.97	1.00	1.01

□□□□□

卒業生の動向調

(高等学校用)

1 進路状況

学 科 別		普 通 科		
年 度		4 年 度	5 年 度	6 年 度
卒業生徒数		145	157	141
内 訳	(進学志願者)	145	157	139
	進 学 者			
	大学・短大	129	149	131
	専修・各種学校等	15	6	8
	小 計	144	155	139
	就職者	0	0	2
	自営者	0	0	0
	進学準備者	1	2	0
	その他	0	0	0
合 計		145	157	141

2 求人状況 (全日制のみ)

区 分	4 年 度	5 年 度	6 年 度
就職希望者数	0	0	2
求 人 数	3	2	1
求人倍率	—	—	0.5

3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別		普通科
卒業生徒数		141
資格の 取得状況	文部科学省認定実用英語技能検定2級	55
	文部科学省認定実用英語技能検定準2級	65
合 計		120

□□□□□

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年6月30日現在) (単位:人)

市町名	御殿場市	小山町	裾野市	長泉町	沼津市	三島市	その他	合計
生徒数	305	52	71	15	13	4	9	469
構成比%	65.0%	11.1%	15.1%	3.2%	2.8%	0.9%	1.9%	100.0%

(2) 通学方法 (令和7年6月30日現在) (単位:人)

区分	徒歩	自転車	電車	バス	その他	合計
生徒数	73	125	172	16	83	469
構成比%	15.7%	26.6%	36.6%	3.4%	17.7%	100.0%

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年6月30日現在) (単位:人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		12	4		16
男子	1年	62	29	0	91
	2年	75	11	3	89
	3年	63	23	5	91
	計(A)	200	63	8	271
	構成比	73.8%	23.3%	2.9%	100.0%
女子	1年	40	32	0	72
	2年	34	39	2	75
	3年	34	20	2	56
	計(B)	108	91	4	203
	構成比	53.2%	44.8%	2.0%	100.0%
合計	(A+B)	308	154	12	474
	構成比	65.0%	32.5%	2.5%	100.0%

※ 合計人員と生徒数との相違は、運動部及び文化部の重複登録加入があるため。

□□□□□

授 業 料

(全日制)

期別	月別	調定の状況							
		1年		2年		3年		計	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額
一期	4	人	円	人	円	人	円	人	円
	5								
	6								
	7	42	1,247,400	44	1,306,800	45	1,336,500	131	3,890,700
	8								
	12	△ 1	△ 29,700					△ 1	△ 29,700
	計	41	1,217,700	44	1,306,800	45	1,336,500	130	3,861,000
二期	7								
	8								
	9								
	10	48	2,376,000	43	2,128,500	47	2,286,900	138	6,791,400
	11								
	12	△ 2	△ 99,000					△ 2	△ 99,000
	計	46	2,277,000	43	2,128,500	47	2,286,900	136	6,692,400
三期	12								
	1	46	1,821,600	43	1,702,800	46	1,821,600	135	5,346,000
	2								
	3	△ 1	△ 9,900					△ 1	△ 9,900
	計	45	1,811,700	43	1,702,800	46	1,821,600	134	5,336,100
合計		132	5,306,400	130	5,138,100	138	5,445,000	400	15,889,500

収 納 状 況 調

(令和6年度)

収納の状況				異動者等の状況
納期内収納額		納期後 収納額	収入 未済額	
円	収納率 %			
				A. 期首収納権利発生額 = 3,890,700円 (131人×9,900円×3月)
3,890,700	100.0			B. 収納権利増減(▲)額 = ▲29,700円 12月3日:1年:就学支援金認定▲1 1人×9,900×3月
				C. 収納必要額A(±)B = 3,861,000円
△ 29,700				
3,861,000	100.0	0	0	
				A. 期首収納権利発生額 = 6,791,400円 (137人×9,900円×5月+ 1人×9,900円×1月)
6,741,900	99.3		49,500	B. 収納権利増減(▲)額 = ▲99,000円 12月6日:1年:就学支援金認定▲1 1人×9,900×5月
		49,500		12月13日:1年:就学支援金認定▲1 1人×9,900×5月
△ 99,000				C. 収納必要額A(±)B = 6,692,400円
6,642,900	99.3	49,500	0	
5,346,000	100.0			A. 期首収納権利発生額 = 5,346,000円 (135人×9,900円×4月)
				B. 収納権利増減(▲)額 = ▲9,900円 <内訳> 2月28日:1年:転学▲1 1人×9,900×1月
△ 9,900				C. 収納必要額A(±)B = 5,336,100円
5,336,100	100.0	0	0	
15,840,000	99.7	49,500	0	D. 収納必要額 = 15,889,500円

□□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度 (令和 7 年 6 月 30 日現在)
	件 数	件 数
入学検定料	1 6 3	0

□□□□□

預 金 調

(令和7年6月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘要
スルガ銀行 御殿場駅支店	無利息型 普通預金	161952	静岡県立御殿場南高等学校 資金前渡者 校長 渡辺洋介	0	給与用
スルガ銀行 御殿場駅支店	〃	1507886	自振口. 御殿場南高等学校 資金前渡者 御殿場南高等 学校校長 渡辺洋介	0	自動振替用 (光熱水費・電話料ほ か)
残 高 合 計				0	

□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)		
					5年度	6年度	左のうち、前年度からの繰越額分
(12) 委託料	01一般	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費		808,500	
	01一般	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費		736,296	
	01一般	11教育費	07特別支援学校費	02特別支援学校管理費		224,400	
計					1,716,640	1,769,196	0
(14) 工事請負費	01一般	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費		6,160,000	
計					5,509,350	6,160,000	0
(16) 公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	01一般	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費		815,800	
	01一般	11教育費	08学校教育費	01高校教育費		2,718,540	2,718,540
計					2,198,750	3,534,340	2,718,540
(18) 負担金、補助及び交付金	01一般	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費		37,592,400	
計					37,050,100	37,592,400	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

□□□□□

委託料等歳出予算執行状況別集計表

(令和7年6月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、前年度からの繰越額分
(12)	01一般	12教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	0	0
委託料	01一般	12教育費	07特別支援学校費	02特別支援学校管理費	0	0
計					0	0
(14)					0	0
工事請負費					0	0
計					0	0
(16)					0	0
公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17)	01一般	12教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	0	0
備品購入費					0	0
計					0	0
(18)	01一般	12教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	17,200	0
負担金、補助及び交付金					17,200	0
計					17,200	0
(21)					0	0
補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 自家用電気工作物保安管理業務	金指電気管理事務所 金指周治	円 760,870	円 760,870	円 0	円 760,870	随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.10.30 7.4.28 小計	円 378,070 382,800 760,870	自家用電気工作物の維持保安に関する業務 月1回 (裾野高・御殿場特別支援学校共)	随契1号 (少額)
2	御殿場駿東地区県立学校定期点検業務委託	有コーセイ産業	2,029,500	808,500	0	808,500	一般	6.8.20 ～ 6.12.20	7.1.31	808,500	建築基準法第12条に基づく定期点検業務 (小山・御殿場・御殿場特支・裾野共)	
3	廃棄物運搬処理業務委託	株ホクセイ	30,426	30,426	0	30,426	随契	6.9.13 ～ 7.3.31	6.11.15	30,426	産業廃棄物運搬収集処理に関する業務	随契1号 (少額)
4	廃棄物運搬処理業務委託	富士総業株	84,700	84,700	0	84,700	随契	6.10.3 ～ 7.3.31	7.2.12	84,700	産業廃棄物運搬収集処理に関する業務	随契1号 (少額)
5	廃棄物運搬処理業務委託	富士総業株	84,700	84,700	0	84,700	随契	7.2.12 ～ 7.3.31	7.4.22	84,700	産業廃棄物運搬収集処理に関する業務	随契1号 (少額)
	事務関係計	5件	2,990,196	1,769,196	0	1,769,196				1,769,196		
	合計	5件	2,990,196	1,769,196	0	1,769,196				1,769,196		
参考1	消防用設備等保守点検業務	伊豆防災機器株		4,493,852	0	4,493,852		6.4.1 ～ 7.3.31			消防設備等の保守点検業務	御殿場高校
参考2	可燃物収集運搬処分業務	株東海衛生		運搬料 1回935.0 処分料 1Kg 8円	0	運搬料 1回935.0 処分料 1Kg 8円		6.4.5 ～ 7.3.31			可燃物収集運搬処分業務	単価契約 小山高校
参考3	プール浄化装置保守点検業務	三友水処理株		196,680	0	196,680		6.4.11 ～ 6.11.30			プール浄化装置の保守点検業務 年2回	沼津西高校
参考4	機械警備業務	セコム株		4,719,000	155,763	4,874,763		1.10.1 ～ 6.9.30			校舎の機械警備 (侵入・火災) 毎日	御殿場高校 R1長期
参考5	機械警備業務	セコム株		9,900,000	0	9,900,000		6.10.1 ～ 11.9.30			校舎の機械警備 (侵入・火災) 毎日	御殿場高校 R6長期
	計	5件										

□□□□□

委託料に関する調

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	委 託 業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約 期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の内容	摘 要
				当初額	変更 増減額	計						
1	(事務関係) 自家用電気工作 物保安管理業務	金指電気管 理事務所 金指周治	円 765,600	円 765,600	円 0	円 765,600	随契	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31		円	自家用電気工作物の 維持保安に関する業 務 月1回 (裾野高・御殿場特別 支援学校共)	随契1号 (少額)
	事務関係計	1件	765,600	765,600	0	765,600						
	合 計	1件	765,600	765,600	0	765,600						
参考 1	消防用設備等保守 点検業務	伊豆防災 機器㈱	/	4,579,652	0	4,579,652	/	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	/	/	消防設備等の保守 点検業務	御殿場高校
参考 2	可燃物収集運搬 処分業務	富士総業㈱	/	運搬料 1回 1,210.0 処分料 1Kg 8円	0	運搬料 1回 1,210.0 処分料 1Kg 8円	/	7. 4. 4 ～ 8. 3. 31	/	/	可燃物収集運搬 処分業務	単価契約 小山高校
参考 3	プール浄化装置 保守点検業務	三友水処理 ㈱	/	183,700	0	183,700	/	7. 4. 11 ～ 7. 11. 28	/	/	プール浄化装置の 保守点検業務 年2回	沼津西高校
参考 4	機械警備業務	セコム㈱	/	9,900,000	0	9,900,000	/	6. 10. 1 ～ 11. 9. 30	/	/	校舎の機械警備 (侵入・火災) 毎 日	御殿場高校 R6長期
	計	4件										

□□□□□

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	全国高等学校長協会総会・研究協議会	円 4,000	6.5.14
2	東海四県高等学校校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校校長生徒指導連絡協議会	開催要項による	東海四県高等学校校長生徒指導連絡協議会	2,000	6.7.4
3	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分322名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	9,563,400	振替日 6.7.31
4	全国普通科高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国普通科高等学校長協会	開催要項による	全国普通科高等学校長協会総会・研究協議会	6,000	6.8.28
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分314名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	15,513,300	振替日 6.10.31
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(週及認定者1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	29,700	振替日 6.12.3
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(週及認定者1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	49,500	振替日 6.12.6
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(週及認定者1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	49,500	振替日 6.12.13
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分313名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	12,394,800	振替日 7.1.31
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(転出者戻入2名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	△ 19,800	振替日 7.3.5
計		10件			37,592,400	

□□□□□

負担金支出調

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	全国高等学校長協会総会・研究協議会	円 4,000	7.5.9
2	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会受講料	公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター	開催要項による	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	13,200	7.5.26
計		2件			17,200	

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	管理諸室空調更新工事	御殿場市 新橋地内	円 6,490,000	円 6,105,000	円 55,000
		合 計	1 件	6,490,000	6,105,000	55,000

(参 考)

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	令和5年度 [第35-Z0333-01号] 御殿場南高等学校防球 ネット設置工事	御殿場市 新橋地内	円 25,278,000	円 23,980,000	円 2,607,000
2	教育管理費	令和6年度 [第36-Z0321-01号] 御殿場南高等学校体育 館用便所改修工事	御殿場市 新橋地内	28,039,000	27,280,000	0
		合 計	2 件	53,317,000	51,260,000	2,607,000

事 調

(令和6年度)

額	契約 締結 方法	受 注 者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支 出 済 額	工 事 概 要	公有財 産台帳	摘 要
計							
円 6,160,000	指名	(株)進興	着手7. 1. 31 完成7. 3. 26	円 6,160,000	管理諸室6室 のパッケージ エアコン7組 の更新	予	令達6. 12. 23 令達7. 3. 19 (変更) 支払7. 4. 18
6,160,000				6,160,000			

(令和6年度)

額	契約 締結 方法	受 注 者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支 出 済 額	工 事 概 要	公有財 産台帳	摘 要
計							
円 26,587,000	指名	三星建設工業 (株)	着手5. 10. 24 完成6. 6. 7	円 (9,590,000) 16,997,000	グラウンド南 側の防球ネッ ト設置	予	本庁経理 沼津土木事務所 令和5年度繰越
27,280,000	一般	岳南建設 (株)	着手6. 10. 11 完成7. 2. 7	27,280,000	体育館用便所 の改修	—	本庁経理 沼津土木事務所
53,867,000				44,277,000			

□□□□□

公 有 財 産 調 査

(令和6年度)

区 分	6年3月31日 現 在		増		減		7年6月30日 現 在		摘 要
	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	
行政財産	千円	1,600,648	千円		千円		千円	1,614,465	
土地	m ² 40,058.73	1,551,397					m ² 40,058.73	1,551,397	
立木竹	本 131	1,287					本 131	1,287	
建物	<u>6,485.95</u> 11,677.64	4,859				1,458	<u>6,485.95</u> 11,677.64	3,401	
工作物	個 61	43,105	2	19,851	7	4,576	個 56	58,380	
普通財産	千円	57,404	千円		千円		千円	0	
土地	847.17	57,404			847.17	57,404	0	0	
公有財産に準ずる もの	千円	213	千円		千円		千円	213	
電話加入権	件 7	213					件 7	213	

令和7年度中増減なし

借地借家等調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契 約 期 間	所有者又は 契約者氏名	用 途
				台帳	現況		単 価	年 額			
1	土地	学校 用地	御殿場市新橋 1450-1、1455-1	河 川	学校 敷地	360.00		無 償	R5.4.1～ R10.3.31	御殿場市長	河川占用 (通行路)
2	土地	学校 用地	御殿場市新橋 1434-2、1411-3	河 川	学校 敷地	80.00		無 償	R5.4.1～ R10.3.31	御殿場市長	河川占用 (通行路)
	計					440.00		0			
3	土地	学校 用地	御殿場市新橋 1458	河 川	学校 敷地	m 38.0		無 償	R7.4.1～ R12.3.31	御殿場市長	河川占用(排 水管理設)
4	土地	学校 用地	御殿場市新橋 1455-1	河 川	学校 敷地	4.00		無 償	R3.4.1～ R8.3.31	御殿場市長	河川占用(雑 排水の放流)
5	土地	学校 用地	御殿場市新橋 1450	河 川	学校 敷地	0.55		無 償	R3.4.1～ R8.3.31	御殿場市長	河川占用(汚 水雑排水)
6	土地	学校 用地	御殿場市新橋 1667-2	道 路	学校 敷地	7.39		無 償	R5.4.1～ R10.3.31	御殿場市長	道路占用(雨 水の放流)
7	土地	学校 用地	御殿場市新橋 1409-2	河 川	学校 敷地	0.15		無 償	R4.12.14～ R9.3.31	御殿場市長	河川占用(雨 水の放流)
	計					50.09		0			
8	建物	事務 所建	御殿場市新橋 1667-2	鉄筋コンクリート造2 階建		m ² 386.80 721.10		無 償	R7.4.1～ R8.3.31	(一社)静岡県立御殿 場南高等学校後援会	生活館
9	建物	雑屋 建	御殿場市新橋 1450	鉄骨造平屋建 スレート葺屋根		50.00 50.00		無 償	R7.4.1～ R8.3.31	(一社)静岡県立御殿 場南高等学校後援会	自転車置場
10	建物	雑屋 建	御殿場市新橋 1450	木造2屋1組 W5.8mD4.1m		47.69 47.69		無 償	R7.4.1～ R8.3.31	(一社)静岡県立御殿 場南高等学校後援会	ピッチング練習 場
11	建物	雑屋 建	御殿場市新橋 1450	鉄骨造2屋1組 W9.3mD3.2m W8.2mD3.2m		56.00 56.00		無 償	R7.4.1～ R8.3.31	(一社)静岡県立御殿 場南高等学校後援会	野球用ベンチ屋 根
12	建物	雑屋 建	御殿場市新橋 1450	W 4.545m D 2.3m		10.45 10.45		無 償	R7.4.1～ R8.3.31	静岡県立御殿場南高等 学校野球部父母会	野球用放送室
13	建物	雑屋 建	御殿場市新橋 1450	W 3.94m D 4.54m		17.88 17.88		無 償	R7.4.1～ R8.3.31	静岡県立御殿場南高等 学校野球部父母会	野球用倉庫
14	建物	雑屋 建	御殿場市新橋 1450	W 4.1m D 3.18m		13.03 13.03		無 償	R7.4.1～ R8.3.31	静岡県立御殿場南高等 学校野球部父母会	野球用倉庫
15	建物	雑屋 建	御殿場市新橋 1450	W 1.25m D 2.2m		2.75 2.75		無 償	R7.4.1～ R8.3.31	静岡県立御殿場南高等 学校野球部父母会	ピッチングマシン取 納庫
	計					584.60 918.90		0			
16	工作物	冷暖 房装 置	御殿場市新橋 1450			個 2		474,084	R3.7.1～ R16.6.30	三井住友ファイナンス &リース株式会社	普通教室空調 設備(県立高 校一括契約)
17	工作物	雑工 作物	御殿場市新橋 1450	ホ°リチレンネット コンクリート柱 H10mL13.6m		1		無 償	R7.4.1～ R8.3.31	(一社)静岡県立御殿 場南高等学校後援会	バドミントン防球 ネット
18	工作物	雑工 作物	御殿場市新橋 1450	鉄骨造 L=6m		1		無 償	R7.4.1～ R8.3.31	(一社)静岡県立御殿 場南高等学校後援会	野球用スコアボ ード
19	工作物	冷暖 房装 置	御殿場市新橋 1450			個 1		4,636,654	R6.7.1～ R19.6.30	NTT・TCリース株式会 社静岡支店	特別教室空調 設備(県立高 校一括契約)
	計					5		5,110,738			

□□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

区分	事業名又は 契 約 名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
長期 継続 契約	電子複写機 賃貸借契約	事務室用 コピー機の賃貸借 (契約日 4. 4. 1)	円 449,060	円 89,812	円 89,812	円 89,812	円 89,812	円 89,812
	印刷機 賃貸借契約	職員室用 印刷機の賃貸借 (契約日 4. 4. 1)	3,300,000	660,000	660,000	660,000	660,000	660,000

□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	貸付料又は使用料		貸付又は 使用許可期間	貸付又は使用許可を 受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	御殿場市新橋1450	学校敷地	学校敷地	本柱3本 支線4本 支線柱2本	1,500円	13,500円	R7.4.1 ~R12.3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	電気通信 設備維持
2	土地	学校敷地	御殿場市新橋字四反田1667-2	学校敷地	学校敷地	本柱1本 支柱1本	1,500円	3,000円	R7.4.1 ~R12.3.31	東京電力パワーグリッド(株)静岡総支社長	電力供給
3	土地	学校敷地	御殿場市新橋1450	学校敷地	学校敷地	2㎡		免除	R3.4.1 ~R8.3.31	御殿場市長	避難地案内看板設置敷地
4	土地	学校敷地	御殿場市新橋1450	学校敷地	学校敷地	1.44㎡		免除	R3.4.1 ~R8.3.31	御殿場市長	防災行政無線屋外子局設置
5	建物	事務所建	御殿場市新橋1450	校舎		0.11㎡		免除	R3.4.1 ~R8.3.31	御殿場市長	地域防災 無線設置
6	土地	学校敷地	御殿場市新橋1450	学校敷地	学校敷地	20.25㎡		免除	R3.4.1 ~R8.3.31	御殿場市長	防火水槽敷地
7	土地	学校敷地	御殿場市新橋1450	学校敷地	学校敷地	20㎡		免除	R5.4.1 ~R10.3.31	御殿場南高等学校PTA 会長	団体職員 駐車場
8	建物	事務所建	御殿場市新橋1450	校舎		6.6㎡		免除	R5.4.1 ~R10.3.31	御殿場南高等学校PTA 会長	団体職員 執務場所
9	土地	学校敷地	御殿場市新橋1450	学校敷地	学校敷地	14.76㎡		免除	R6.4.1 ~R11.3.31	新橋区長	防災倉庫設置
10	建物	事務所建	御殿場市新橋1450	校舎		4.0㎡	-	667,700円	R6.4.1 ~R9.3.31	コカ・コーラボトラーズジャパン(株)バンディング中部日本地区統括部バンディング静岡支店長	飲料用自動販売機等設置
11	土地	学校敷地	御殿場市新橋1450	学校敷地	学校敷地	2.0㎡	-	107,000円	R6.4.1 ~R9.3.31	ダイドードリンコ(株)東海営業部長	飲料用自動販売機等設置
合計								791,200円			

□□□□□

主 要 備 品 調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区 分		品 名. 規 格	利 用 状 況	購 入 年 月	購入金額
	大・中	小				
1	10-06	教育調理器具	調理台 YFTC-24CD-I(S)	年間30日 家庭科調理実習用	平成28年3月	5,313,600 円
2	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	天吊式プロジェク ターほか	年間245日 授業用	平成30年3月	5,153,328
3	03-03	プロジェクター	天吊式プロジェク ター	年間245日 授業用	平成31年3月	2,094,120
4	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	タブレット端末	年間245日 授業用	平成31年3月	1,927,044
5	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ G5E	年間33日 音楽授業用	平成4年10月	1,340,000
6	05-99	試験実験機器	ドラフトチャンバー ニッター DT-1200	年間30日 理科授業用	平成21年3月	1,110,900
7	01-19	掲示板・黒板	部活表彰掲示板 1410×1200×45	年間365日 生徒・外来者への掲示用	平成28年5月	908,712
8	02-01	その他の情報処理機器	サーバ ラックベースユニッ ト	年間150日 教育総合ネットワーク校内L AN用	平成25年4月	751,800
9	01-14	エアコンディショナー	ルームエアコン S90ZTRXP-W	年間140日 社会科教室授業用	令和4年2月	638,000
10	03-03	プロジェクター	プロジェクター EB-810E	年間150日 4C教室授業用	令和7年1月	549,450
11	03-03	プロジェクター	プロジェクター EB-810E	年間150日 4C教室授業用	令和7年1月	549,450
12	03-03	プロジェクター	プロジェクター EB-L260	年間150日 視聴覚室授業用	令和6年12月	460,460
13	10-07	鍵盤楽器	アップライトピアノ K-300	年間33日 音楽授業用(パート別練習で 使用)	平成27年2月	427,680
14	03-03	プロジェクター	プロジェクター EB-982W	年間150日 視聴覚室授業用	令和3年3月	404,800
15	05-04	その他の分析化学機器	オート高圧滅菌器 SKT-30S	年間30日 授業準備用	平成22年2月	395,850
16	03-03	プロジェクター	プロジェクター EB-982W	年間40日 会議室会議・研修用	令和2年11月	367,400
17	03-03	その他の映写機	液晶プロジェクター EPSON	年間90日 PC教室授業用	平成14年7月	359,495
18	03-03	プロジェクター	電子黒板機能付プロ ジェクター EB-685WT	年間90日 社会科教室授業用	平成29年11月	351,000
19	01-11	その他の照明器具	リチウムイオンソー ラー照明灯 MDC-01L- F	年間365日 生活館入口照明灯	平成24年10月	350,000
20	03-03	プロジェクター	液晶プロジェクター EB-982W	年間150日 2A教室授業用	令和4年11月	349,800

□□□□□

職 員 調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務 分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校長	渡辺 洋介		□□□□	□□	□□□
2	副校長	小泉 洋幸		□□□□	□□ □□	□□□
3	教頭	関口 千尋	理科	□□□□	□□	□□□
4	事務長	高橋 正恵	事務 総括	□□□□	□□ □□	□□□
5	教諭	大岩 広人	保健 体育	□□□□	□□	□□□
6	教諭	山田 康子	数学	□□□□	□□	□□□
7	教諭	金親 雅史	理科	□□□□	□□ □□	□□□
8	教諭	高杉 守	国語	□□□□	□□ □□	□□□
9	教諭	青野 瑞枝	国語	□□□□	□□ □□	□□□
10	教諭	今井 均	保健 体育	□□□□	□□ □□	□□□
11	教諭	伊藤 久美	理科	□□□□	□□	□□□
12	教諭	長田 円	英語	□□□□	□□ □□	□□□
13	教諭	大谷 隆	地歴 公民	□□□□	□□ □□	□□□
14	教諭	稲 有子	国語	□□□□	□□ □□	□□□
15	教諭	浅川 智彦	数学	□□□□	□□	□□□
16	教諭	芹澤 光	地歴 公民	□□□□	□□ □□	□□□
17	教諭	海老原 淳	数学	□□□□	□□ □□	□□□
18	教諭	小津 智治	保健 体育	□□□□	□□ □□	□□□
19	教諭	赤池 義将	英語	□□□□	□□ □□	□□□
20	教諭	西家 和樹	理科	□□□□	□□ □□	□□□
21	教諭	大瀧 林平	英語	□□□□	□□ □□	□□□
22	教諭	諏訪部 尚紀	保健 体育	□□□□	□□ □□	□□□
23	教諭	茅野 航	地歴 公民	□□□□	□□ □□	□□□
24	教諭	望月 勇希	国語	□□□□	□□ □□	□□□

整理 番号	職名	氏名	事務 分担	住所	勤務年数	摘要
25	教諭	加藤 綾華	理科	□□□□	□□ □□	□□□
26	教諭	中村 賢晴	英語	□□□□	□□ □□	□□□
27	教諭	菅原 哲平	数学	□□□□	□□ □□	□□□
28	教諭	河畑 直人	数学	□□□□	□□ □□	□□□
29	教諭	細田 真未	英語	□□□□	□□ □□	□□□
30	養護教諭	久野 真史		□□□□	□□ □□	□□□
31	主任実習助 手	北井 清貴	理科	□□□□	□□ □□	
32	主任	岩瀬 貴裕	管財 給与	□□□□	□□ □□	□□□
33	主任	伊藤 義仁	会計	□□□□	□□	□□□
34	技能長	星合 陽一	用務	□□□□	□□ □□	□□□
平均年数					□□ □□	

(臨時・会計年度任用職員、校医等)

整理番号	職名	氏名	事務 分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭 (臨時)	小松原 仁美	理科	□□□□	□□	□□□
2	会計年度任用職員 (非常勤講師)	岩田 雅子	英語	□□□□	□□ □□	□□□
3	会計年度任用職員 (非常勤講師)	古谷 嘉奈子	国語	□□□□	□□ □□	□□□
4	会計年度任用職員 (非常勤講師)	山本 正己	地歴 公民	□□□□	□□	□□□
5	会計年度任用職員 (非常勤講師)	平澤 千鶴子	英語	□□□□	□□ □□	□□□
6	会計年度任用職員 (非常勤講師)	遠藤 和帆	美術	□□□□	□□ □□	□□□
7	会計年度任用職員 (非常勤講師)	丸川 正剛	音楽	□□□□	□□ □□	□□□
8	会計年度任用職員 (非常勤講師)	神山 和子	書道	□□□□	□□ □□	□□□
9	会計年度任用職員 (非常勤講師)	土屋 和子	家庭 情報	□□□□	□□ □□	□□□
10	会計年度任用職員 (非常勤講師)	森 純子	家庭	□□□□	□□ □□	□□□
11	会計年度任用職員 (非常勤嘱託員)	岡村 妙子	事務	□□□□	□□	
12	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	豊田 俊介	用務	□□□□	□□ □□	
13	会計年度任用職員 (ALT)	Fanny Andrea Naranjo	英語	□□□□	□□ □□	□□□
14	会計年度任用職員 (部活動指導員)	高村 真也	部活	□□□□	□□	
15	会計年度任用職員 (スクールカウンセラー)	齋藤 晴代	相談 員	□□□□	□□	□□□
16	会計年度任用職員 (スクールカウンセラー)	河村 恵理	相談 員	□□□□	□□	□□□
17	学校医	松尾 厚	内科	□□□□	□□ □□	
18	学校医	石川 昭	眼科	□□□□	□□ □□	
19	学校医	齋藤 彰治	耳鼻 科	□□□□	□□ □□	
20	学校 歯科医	大庭 礼之	歯科	□□□□	□□ □□	
21	学校 薬剤師	勝又 英司	薬剤 師	□□□□	□□ □□	

□□□□□

職員の年齢調

(令和7年6月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	3人	
30歳以上40歳未満	9人	
40歳以上50歳未満	8人	
50歳以上56歳未満	7人	
56歳以上61歳未満	7人	
61歳以上	0人	
計	34人	平均年齢 44.5歳

健康管理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 35人 職員数 35人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	6 (6) 人
D 2		要経過観察	7 (7) 人
D 3		医療不要	21 (21) 人
区 分 者 計			34 (34) 人
未区分者数			0人
合 計			34 (34) 人

(1) 管理区分A～C 2該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人
 イ 新規採用 人
 ウ 自己都合による未受診 人
 エ その他 () 人